

燃焼排ガス測定 標準値

社名	標準値		
設備名	ガス燃焼炉		※以下にこれまでの実測定の結果や、資料文献から得られたデータを参考に標準値を求めました。
燃料の種類	LPG 又は 13A		
バーナータイプ	PM	NM	PM : プレミックスガスバーナー NM : ノズルミックスガスバーナー
エアー圧 (kpa)	4.0～6.0	3.5～4.5	
ガス圧 (kpa)	2.5～4.0		標準出口圧力は 2.8kPa
ガス流量 (m ³ /hr)			バーナーの出力範囲内で、要求された値に調整する。
排ガス温度 (°C)	850～950		ルツボ外周上部の温度を目安とする。
O ₂ 濃度 (vol.%)	2.0～5.0		還元炎は、ルツボの早期劣化の原因となり避ける。
CO濃度 (vol.%)	0.00		検出限界(0.01%)未満にする。
CO ₂ 濃度 (vol.%)	9.0～12.0		正常な燃焼状態であれば、濃度より総排出量(供給ガス量由来)
空気比	1.10～1.30		気体燃料の優位性を活かしつつ、不完全燃焼に対する安全性や排ガス損失も考慮し、1.20±0.5 を目標に調整する。
排ガス損失 (%)	35.0～45.0		数値は排気温度が概ね900°C想定。
炉内圧力 参考値 (kpa)	0.03～0.10		文献に依れば、ワークの出入口等密閉できない 燃焼炉について熱放出や冷気の流入を防ぐ為、炉内圧を0.1kPa程度としている。